

「ワイドターゲットメタボローム分析」支援について（暫定版）

理化学研究所
CSRS 代謝システム研究チーム

本研究支援では、あらかじめ決めてある約 500 種類の一次、二次代謝産物を対象に、LC-MS による分析を行います。本研究支援は共同研究として実施させていただきます。以下の注意点をよくお読みいただいたうえで担当者までお問い合わせください。

対象代謝産物

一次および二次代謝産物 約 500 種類（別表 1）

研究支援の流れ

①事前連絡（メール、貴研究室→当チーム）

目的、対象、サンプル数など

②事前打ち合わせ

必要情報、納期の確認など

③申請書提出（メール、貴研究室→当研究チームおよび事務局）

④メタボローム分析依頼票およびサンプルリストの提出、サンプル送付日の連絡

（メール、貴研究室→当チーム）

※ 形質転換植物の種子の場合は別途、遺伝子組換え生物搬出入の手続きが必要です。

⑤サンプル送付（貴研究室→当チーム）

- ・受け取りは平日のみ（午後 3 時までには到着するよう時間指定）をお願いします。
- ・「植物サンプルの授受における確認書」をプリントアウトして必要事項を記入・捺印のうえ同梱してください。

⑥ワイドターゲットメタボローム分析

⑦測定結果の送付（当チーム→貴研究室）

⑧結果の解釈のフィードバック（貴研究室→当チーム）

論文化の相談など

⑨データ公開（貴研究室、当チーム）

ワイドターゲットメタボローム分析の流れ

①サンプルの準備（貴研究室）※ 詳細は後述

②サンプルの凍結乾燥・破碎・秤量（貴研究室または当チーム）

③代謝産物の抽出、調製（当チーム）

④UPLC-タンデム四重極質量分析機を用いたターゲット分析（当チーム）

⑤データ精査、エクセルファイル形式にまとめ（当チーム）

費用負担

サンプリングチューブとサンプル破碎用のビーズはご購入くださいますようお願いいたします。
サンプル数に応じて溶媒等の購入をお願いすることがあります。
別途高額な試薬等が必要な場合はご相談ください。

納期

- ・別表 1 にある代謝産物：数週間程度で結果を返却
- ・上記以外の代謝産物（要相談）：当チームで測定可能であれば 1-2 ヶ月程度で結果を返却

納期は機器の使用状況によって異なりますので、余裕を持った実験計画でお願いいたします。
大幅に遅れる場合は事前にご連絡します。

共著のお願い

解析結果を用いた発表をする場合（学会発表，論文投稿）は共著者としていただきますようお願いいたします。事前にご連絡ください。

連絡先

masami.hirai@riken.jp 平井優美（代謝システム研究チーム チームリーダー）

yuji.sawada@riken.jp 澤田有司（代謝システム研究チーム 研究員）